

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年12月1日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	吉野川市	代表者名	原井 敬
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0883-22-2234
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	海北 勝弘
住所	776-8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島115-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	情報提供依頼の際に必要な情報をレクチャーしていただき、事業者への模擬RFIが実施できた。また、課題構造図を客観的に評価していただくことにより、課題を担当者が受け入れられたと思う。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年10月30日	13時30分	17時00分		210
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="checkbox"/> 掲載可
------	------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	16人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	AIやRPAを理解できていない、行っている業務の自動化を検討できる材料がない等の問題がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	職員自らが業務フローを理解し、RPAを導入する事業者へ説明できるようにすることで、業務自動化の可能性を広げる。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	これまでに作成した成果物に情報提供依頼を行う際に事業者が必要とする情報を加える方法、RFIを受ける際の留意点についての講義、事業者からの模擬RFIの実施、取り組むべき課題への整理方法の講義	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	情報提供依頼を行う際、事業者から提案を受ける際のポイントを学んだ。実際に事業者から模擬RFIを短期間で実施していただくなど、オンライン支援の利点を生かした支援を受け、予算要求資料へ反映できた。 また、RPAを受け入れるための現状の問題と課題を整理する課題構造図の作成方法を学び、現状の課題を洗い出し、整理できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	RPAを受け入れるための現状の問題と課題を整理する方法を学んだ 成果物：課題構造図	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果は別紙の通り。今回の研修について概ね理解できたものと見受けられる。資料作成については必要であれば作成すると回答した職員が多いため、強力な推進体制が必要と感じた。研修、講師については好評であると思われる。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	職員がRPA導入時に事業者へ自動化したい業務を説明することができ、担当が変わっても継続できる方法を確立する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

